

報告 議会の動き



パソコンを使っでの総合学習授業

問われる議会の対応

中元問題で議長に要請書

11月6日、佐藤町長が複数の有権者に中元やお歳暮を贈っていた問題で、町民の有志による「白鷹町政治倫理を考える会」から議長に対し要請書が提出されました。

要請書の要旨は、「町長本人も事実関係を認め、それが公職選挙法に抵触する可能性が高いといわれている以上、議会としての姿勢を明確にし、一日も早く疑念

を晴らしてほしい」というものです。

これを受け11月13日の全員協議会で、議員から「議会は慎重に対応すべきだ」という意見も出ましたが、町民の疑念を払拭するには行動することが重要として、県警に厳正な対応を求めることを全会一致で了承しました。

同日、正・副議長は山形市の県警本部を訪れ、捜査の状況などをたずねました。11月26日の全員協議会で、正・副議長から「この問題については、事実関係は調べたが、現時点で終わったとも捜査中ともいえない」との説明を県警から受けてきたことが報告されました。

競争性・透明性は確保

11月26日の臨時議会で、町内の小中学校に配置するパソコン（429台）やプリンターなどを一括購入する財産取得の議案が提案されました。

指名競争入札で3社を指名したが、2社が入札前に棄権し、1社のみで入札が行われたとの説明がありました。これに対し議員から2社が棄権した理由を問われ、「理由は聞いていない。聞く義務はない」と答えました。

業者の棄権した理由が焦点となり質疑がありました。が、当局から理由が明らかにならないまま反対討論の後、採決となり11対1で否決されました。

12月17日の本会議に再提案され、当局から説明不足の謝罪と説明があり、「入札に競争性、透明性は確保されている」として可決しました。

議会活性化特別委員会を設置

12月17日の本会議で、議員発議により「議会活性化特別委員会」を設置することになりました。

会中も調査を行うとします。

議員の資質の向上、政策立案、情報公開に資するための調査・研究を目的とし、期間は調査・研究が終了するまでとするが、議会の閉

◎本木勝利 ○遠藤幸一
五十嵐政司 岡田 明
加藤秀人 守谷丹吾
◎委員長 ○副委員長